

令和3年度 大楠小学校の教育

【教育の目的】

教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。（教育基本法）

大楠小学校 学校教育目標 夢をもち 心豊かに たくましく生きる 大楠の子

【横須賀市の目指す子ども像】

「人間性豊かな子ども」

- ・自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている
- ・生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っている
- ・心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている
- ・自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力している
- ・社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献している
- ・郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けている（指導の必携）

【「生きる力」をはぐくむ】

- 確かな学力
- 豊かな人間性
- 健康・体力

【資質・能力の三つの柱】

- 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能
- 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など（学習指導要領）

大楠小学校の目指す子ども像

○物事を

よく考える子

- ・話が聞ける／文章が読める
- ・話ができる／文章を書ける
- ・他者対話できる／自分対話できる

○思いやりの

ある子

- ・人の気持ちが分かる
- ・親切にできる
- ・自然やものを大切に

○ねばり強く

がんばる子

- ・何事も最後までやりぬく
- ・面倒くさからず行動する
- ・良い習慣を身につけている

○明るく

元気な子

- ・早寝早起き朝ご飯
- ・好奇心にあふれている
- ・あいさつができる
- ・自分が好き／友達が好き

【学校経営の基本方針】

- 児童一人ひとりが安心してともに学び合える学校づくり
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

☆支援教育の推進

- ・授業のユニバーサルデザイン化、合理的配慮の提供を進め、児童全員の力を伸ばすインクルーシブ教育を推進する。

重点

☆道徳教育の推進

- ・題材を自分事と捉え議論する活動を通して、自ら考え行動するための基盤となる道徳性を養う授業作りを推進する。

重点

【目指す学校像】

行きたくなる学校
通わせたい学校
笑顔いっぱい学校

「安心・安全な学校」

危険がない／無理がない／いじめがない

毎日元気に登校し、家に帰ったら学校であったことを目を輝かせて話すような学校



保護者・地域から信頼される学校

☆地域連携の推進

- ・教科横断的なカリキュラムを編成し、地域の協力を得ながら展開することで「開かれた教育課程」を推進する。

重点

☆特別活動の推進

- ・学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事を実践の場と捉え、児童の主体性を引き出す教育を推進する。

重点

【目指す教師像】

「プロフェッショナル」の自覚を持ち、自分を高めるために常に学び続ける教師
目的・目標に向かって、チームとして動ける教師

令和3年度 大楠小学校 学校経営方針によせて

◆ 学校教育目標

大楠小学校の教育の根幹 大楠小の子にはこんな風に育ってほしいという願い

- ・ 夢を持ち
「なりたい自分の姿」をしっかりとイメージしている
- ・ 心豊かに
豊かな体験活動を規定にした、いのちを大切に、ともに育つ仲間づくりがなされている
- ・ たくましく生きる
すこやかなからだづくりを通じて、地域の担い手として「生きる力」をはぐくんでいる

◆ 目指す子ども像

学校教育目標を実現するために、より具体的に子どもの姿で表したもの

生きる力	知	物事をよく考える子	•すべての教科を通して言葉の力を高める
	徳	思いやりのある子	•集団活動を通して他者への共感能力や、行動を起こす力を高める
		ねばり強くがんばる子	•成功体験を積み重ねられるようサポートし、向上心を高める
体	明るく元気な子	•心身の健康や、まわりとのよい関わりを指導・支援し、自己肯定感を高める	

◆ 目指す学校像

安心・安全な学校 「安心・安全」が学校の基本。

子どもにとって「行きたくなる学校」

保護者にとって「通わせたい学校」

子ども、教職員、保護者、地域の自己実現ができる「笑顔がいっぱいな学校」

- ・ 危険がない 施設面が安全。適切な安全点検。
- ・ 無理がない 活動の目標が丁度よい。頑張ればできる。友だちと一緒に。先生と一緒に。
- ・ いじめがない 開かれた学級づくり。「遊びのつもり」は危険。小さな変化に気がつく感度。

児童一人ひとりが安心して
ともに学び合える学校づくり

今年度の重点

支援教育の推進

- 一人一人の違いを認め、共に活動することを目指す。
- 子どもが自力でできるように必要最低限の応援をする

道徳教育の推進

- 本校の校内研究の柱
- 課題を自分事として捉えさせ、自ら考え行動する力を伸ばす

地域連携の推進

- 新しい学習指導要領の重点ポイントの一つ
- 豊富な地域の学習財(財)を有効に活用した教育活動の実践

特別活動の推進

- 様々な活動に積極的に参加し、各教科で身に付けた力を発揮させることで、認め合い、高めあう関係を築く力を育てていく

◆ 目指す教師像

子どもたちとともに成長できる教師集団

教師自身が探究力を持ち、学び続ける存在であることが不可欠

今後の難しい教育課題を解決し乗り越えていくためには、チームプレイ(組織的な対応)が必用不可欠

主体的・対話的で深い学びの
視点からの授業改善